

北鮮の弾道ミサイル発射と核実験に対する緊急声明

八月二十九日と九月十五日早朝、北鮮は弾道ミサイルを発射。ミサイルは神聖なるわが国上空の大气圏を通過して太平洋に落下。宣戦布告に等しい許されざる暴挙である。

九月三日には核実験を強行。爆発規模は百六十トンにおよび、その威力は広島に投下された原爆の十倍だという。さらに、北鮮は電磁パルス攻撃の能力を獲得したことを発表するとともに、わが国に対する敵愾心を強めている。

わが国民を拉致した時からすでに紛争状態に突入していたのだが、今回のミサイル発射と核実験により、多くの国民も北鮮が敵であることを明確に認識することとなった。これ以上、北鮮の暴挙を看過することはできない。

対話の道は閉ざされた。

もはや平時ではない。明確なる有事である。

わが国政府はただちに非常事態宣言を発令して日本国憲法を停止し、自衛隊を誇りある皇軍として再編成して北鮮に派兵せよ。そして、拉致されたわが同胞を奪還するとともに、極東アジアの秩序安定のために金正恩体制を打倒せよ！

平成二十九年九月二十九日

平成二十九年9・29反中共デー東京大会共闘委員会